

横浜清風学園 横浜清風高等学校 創立100周年を迎えました

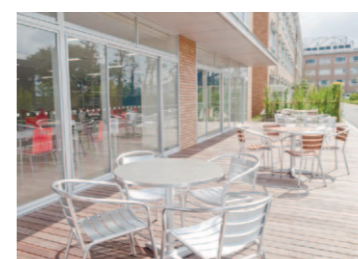
〒240-0023 横浜市保土ヶ谷区岩井町447番地 TEL:045-731-4361

横浜清風高等学校は「仏教の理想とする人間完成」を建学の精神に掲げ、生徒の心に寄り添う教育を実践し、今年で100周年を迎えました。これからも自主・自立の精神を持ち、社会に貢献する人材の育成に尽力します。

Go to the Next Stage with us

100年の歴史を振り返る

- 1923 横浜市南区大岡に横浜家政女学校として創立
- 1927 明倫高等女学校となる
- 1948 明倫高等学校となる
- 1958 大岡校舎から保土ヶ谷校舎へ移転
- 1967 校舎落成記念式典
- 2000 社会福祉コース発足
- 2001 横浜清風高等学校に改称、一部共学となる
- 2003 創立80周年
- 2005 全校共学となる
- 2012 新校舎工事完了
- 2013 創立90周年
- 2017 グラウンド人工芝化
- 2021 アリーナエアコン完備
- 2023 創立100周年



青春は 学びと部活で できている

生徒それぞれが輝く部活動

16の運動部、13の文化部、8のクラブ・同好会を有する横浜清風高等学校。生徒たちはそれぞれの分野でチームワークや思いやりの心を養っている。陸上競技部、女子バス



関東大会以上の出場経験があり、生徒たちは各方面で活躍している。昨年からは今年にかけて、陸上競技部とバントワーリントン大会、吹奏楽部が全国大会、男子バスケットとソフトボール部が関東大会出場を果たした。また美術部と写真部が県大会で入選するなど躍進を続けている。

ケ部、男子バスケット部、ソフトテニス部、硬式テニス部、ソフトボール部、バントワーリントン部、バレーボール部、吹奏楽部、写真部、インターアクトクラブは

大学への現役合格を目指す特進コースでは、1年次より土曜進学講座、早朝0限補習、7限授業を行うことで本格的な大学受験を早期にサポートしている。また「横浜清風メソッド」という独自の取り組みにより、生徒一人一人が希望進路をかなえることができるようにサポートを行っている。iPadでの学習記録分析や放課後の自習エリアの開放など、教員からの全面的なバックアップが魅力だ。こうしたサポート体制で、昨年の進学実績は、横浜国立大

横浜清風高等学校では、特進コースと総合進学コースの2コースを設け、生徒の理想の進路に対応できるカリキュラムを準備している。なかでも国立、難関私立



学1名、長崎大学1名、富山県立大学1名、早稲田大学6名、慶應義塾大学1名、上智大学1名、学習院大学2名、明治大学13名、青山学院大学5名、立教大学13名、中央大学7名、法政大学9名、日東駒専73名、東海大学23名、神奈川大学53名となっている。



大学進学へ向けた清風メソッド

「智慧と慈悲」を未来へ

本校は1923年4月26日に、横浜家政女学校として大岡の地に創立され、この度100周年の節目を迎えました。「仏教主義による教育の実践」という建学の精神を長きにわたってつないでいただいた先人の労に深く感謝するとともに、これを受け継ぎ、更に発展させて行こうという決意を新たにしております

100年の間に校名も、明倫高等女学校、明倫高等学校、そして現在の横浜清風高等学校に変わり、保土ヶ谷へ移転、女子校から男女共学校への変更などさまざまに変遷してきました。そんな中でも仏教主義に根ざした「智慧と慈悲」を身につけるという教育目標は変わっていません。智慧とは、獲得した知識や経験に基づき正しい判断、行動につなげる力であり、慈悲とは、自己と他者との違いを認め、生徒が自主



横浜清風高等学校 校長 植野 法稔

自立の精神を養い、よりよく成長して生きていくために大切な力になると考えます。本校は普通科の高校です。その中には、特進コース・総合進学コースを設けています。また選抜進学クラスやグローバルクラスなど、生徒の多様な目標に対応してさまざまな学習の場を用意しています。

学習面での自主学習力を身につけるために、本校独自の「横浜清風メソッド」という放課後学習システムを導入したり、グローバル化に対応する多彩な海外研修の場を設けたりしています。こういった学習面での取り組みと同時に「青春は学びと部活でできている」というキャッチフレーズにあるように部活動にも注力していて、自らを輝かせる生徒がたくさん育っています。

100周年を一つの節目として、本校の伝統を再認識した上で、新しいステージに向けて、教職員全員で丸くなって新たな学校をつくり上げていく所存です。今後とも変わらぬご支援をお願い申し上げます。

「清い風」さらに高く

横浜清風高等学校の創立100周年、誠にありがとうございます。

この晴れやかな節目を迎えられましたことは、教職員をはじめとした学校関係者、保護者、地域の皆さまや多くの方々の並々ならぬご尽力のたまものです。1966(昭和41)年度卒業の18期生として、また同窓会会長として、心より感謝申し上げます。

旧明倫中学校・高等学校で学び、大学卒業後は母校で教壇にも立っていた私にとって、この節目は大変感慨深いものです。1958(昭和33)年の竣工から半世紀以上の長きにわたって愛され、地域のランドマークのような存在でもあった旧円形校舎。そこで過ごした日々は私の青春そのものと言っても過言ではありません。



横浜清風高等学校 同窓会会長 安田 節子

厳しくも温かな先生方や気のおけない友人らとの思い出は、今でもかけがえのない宝物です。当時の経験が教職への道を開かせてくれました。そして、教員時代の教え子たちや同僚らとの日々も代えがたい素晴らしい財産になっています。

校舎は一新され、カリキュラムもまた時代とともに移り変わってまいりましたが、「智慧と慈悲」という仏教の精神を基盤にした教えは創立以来貫かれています。私自身にも息づいているこの教えは、社会で活躍されているたくさんの方々の卒業生の中にも脈打たれていると思います。そしてその伝統を引き継いだ在校生の姿からは、自主・自立の心が確かに育っていることが感じ取れます。

今学び舎に立つと、本校が大きく発展した喜びと、未来への希望が胸いっぱいにあふれてきます。次の100年に向けて、清い風がさらに高く舞い続けることを願っています。